

特集 **ハシビロコウの生物学と保全**



- 巻頭** ◆ 日本のハシビロコウ 百態
グラビア ◆ ウガンダ・ハシビロコウ「世界ふしぎ発見!」取材記
◆ ウガンダのハシビロコウの生息地

ハシビロコウの生物学と保全—特集企画に際して
ハシビロコウの分類—科一種の「変わったコウノトリ」はペリカンだった!?
ハシビロコウの生態—湿地における魚食生活
生息地ウガンダで野生のハシビロコウを追う
ハシビロコウの形態—大きくなくちばしと長い脚の役割
鳥類におけるさまざまな性判別法とハシビロコウのDNAによる性判別
日本初のハシビロコウ—黎明期の飼育研究への挑戦
上野動物園におけるハシビロコウの飼育の歴史と現在
日本の動物園におけるハシビロコウの産卵事例
ハシビロコウの繁殖に成功したベルギーのペリダイザ動物園を訪ねて
新しいハシビロコウ展示と繁殖への挑戦—アジア地域での成功を目指して
ハシビロコウの飼育下繁殖にむけた繁殖生理理解明への挑戦
ウガンダ野生生物保全教育センターにおけるハシビロコウの保全活動
—生息地の動物園が果たす役割
日本全国のハシビロコウに会いに
—来園者目線で伝えたい、ハシビロコウの「いま」と「これから」



- ①『生物の科学 遺伝』Webサイトで、直接ご注文できます。QR ↑
<https://seibutsu-kagaku-iden2.jimdo.com/bookorder/>
- ②書店でISBNでご注文ください。
ISBN 978-4-86043-700-8
- ③FAXでお申し込みいただく場合、下記にご記入のうえ、047-314-0810までお送りください。

生物の科学 遺伝 会場特価購読申込書 株式会社 エヌ・ティー・エス 行 ▶▶▶ FAX 047-314-0810 <input type="checkbox"/> ハシビロコウ特集号 冊 <input type="checkbox"/> 動物園・畜産学号 冊 <input type="checkbox"/> ライチョウ特集号 冊 <input type="checkbox"/> “種”保存機能号 冊 <input type="checkbox"/> ペンギンの生物学 冊 <input type="checkbox"/> 『遺伝』年間予約購読 冊		● 定価：1,760円（税抜き価格1,600円） ● 直接予約購読料金：年間前払い（6冊分）定価：本体9,000円＋税	
学校・企業名 部署名			
お届け先 ご住所	〒		
お名前			
E-Mail			
TEL		FAX	



生物の科学 遺伝

動物園・畜産学の最前線

「応用動物科学」とは
ニワトリ卵の生物化学
—ヒヨコを生み出し、支える栄養成分
動物と草地の科学—放牧による里山の保全と利用
動物発生工学:体外受精技術を用いたウシの生産
—さまざまな技術が融合した家畜生産
動物の環境生理学—動物の環境応答と体内時計
応用動物行動学
—畜産と動物園におけるアニマルウェルフェアへの取り組み

2021年3月発行号
Vol.75 No.2 ISBN 978-4-86043-697-1
定価:1,760円(税抜き価格1,600円)

動物の遺伝学:動物の味覚の遺伝と進化
—味覚受容体の塩基配列には環境適応の歴史が反映されている
動物園動物の栄養学
—家畜から動物園動物の栄養管理への展開
動物園における絶滅危惧種の繁殖学
—繁殖生理を調べて飼育に生かす
動物園に対する畜産学の貢献
—野生動物の飼育を実現するための大きな役割



生物の科学 遺伝

ライチョウは守れるか?

ここまで明らかになったライチョウの生態と進化
ライチョウの保全遺伝学
— 遺伝的多様性をどうすれば守れるか
標識調査から明らかになったライチョウの適応進化と
保全に向けた課題
環境省によるライチョウの域内保全の取り組みと成果
気候変動が高山植生へ及ぼす影響とその保全対策の考え方
— 山岳国立公園における生態系変化の現状と気候変動適
応策の可能性

2020年3月発行号
Vol.74 No.2 ISBN 978-4-86043-636-0
定価:1,760円(税抜き価格1,600円)

動物園でおこなうライチョウ生息域外保全
— 絶滅が危惧される神の鳥・ライチョウを守る
ライチョウの腸内細菌叢と動物園で飼って増やす取り組みの課題
— 野生復帰技術の確立に向けた取り組み
【地域のライチョウ研究について】
富山におけるライチョウ研究—約40年に及ぶ立山での調査
ニホンライチョウ分布南限地域の標識調査で見えてきた
定着個体と季節移動個体
エゾライチョウの保護管理



生物の科学 遺伝

動物園・水族館の“種”保存機能 遺伝子保存から野生復帰へ

動物園/水族館における種保全事業の理解に向けて
— 一般市民の意識が変わることも園/館を
“本当”の姿に変える力になる
動物園/水族館としての「種の保全」
— 教育そして「種保全センター」としての働きにシフト
第三の種保存技術—希少動物の配偶子保存
— 保存した配偶子から産子を作成する技術開発が急務

2015年11月発行号
Vol.69 No.6 ISBN 978-4-86043-424-3
定価:1,760円(税抜き価格1,600円)

動物園動物の妊娠・出産を支える科学的な繁殖管理
— アジアゾウの繁殖を例に
動物園・水族館の組織的な種の保存への取り組み
— 国や地域、さらにはグローバルな連携による挑戦
野生復帰事例:コウノトリの郷の活動
— 地域に密着し多様な人々と価値観をつなぐレジデント型研究
大型類人猿の野生復帰プロジェクトにおける動物園や保護団体の
役割— アフリカ中部の事例に学ぶ
水族館としての種の保存の現状
— アカウミガメを通して見た水族館での「種の保存」の可能性
国外事例にみる動物園と野生復帰
— 野生復帰政策の発展による成果



生物の科学 遺伝 いきものライブラリ 1

ペンギンの生物学 ペンギンの今と未来を深読み

■国際ペンギン会議 (IPC) から紐解く「現代ペンギン学史」
Photo Gallery
長崎ペンギン水族館で日本最多9種類のペンギンに会う
ペンギンが見た海の中
日本にもペンギンがいた?
■ペンギン—行動と研究最前線
総論 ○ペンギンの生物学:入門編
—ペンギンの現在・過去・未来を知るために
1 ペンギンの進化と多様性
—明らかになりつつあるペンギン進化の全体像

発行:2020年2月
ISBN 978-4-86043-644-5 C3045
体裁:A5判224ページ
定価:2,000円(税別)

2 ペンギンの潜水能力のひみつ
— バイオロギングで明らかになった生理メカニズムと行動パターン
3 比較ゲノムでペンギンの適応進化を探る
— ペンギンゲノムに刻まれた環境適応の歴史
4 ペンギンの保全と繁殖への取り組み
— ペンギンと人間の関係について総合的理解を深めるための歩み
5 気候変動とペンギンの生態
— 寒冷化/温暖化による海水の変化との関連が明らかに
■ペンギン・レッドリスト2019抄録
■ペンギンを飼育している日本の水族館・動物園一覧